外注化阻止ニュース 第６４号

〔発行日〕２０１３年４月３日（水）
〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://www.geocities.jp/dorosien28/index.html

ＪＲの業務外注化を止めるためのニュースです。感想や意見、現場の情報などをお寄せ下さい。（メール）dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

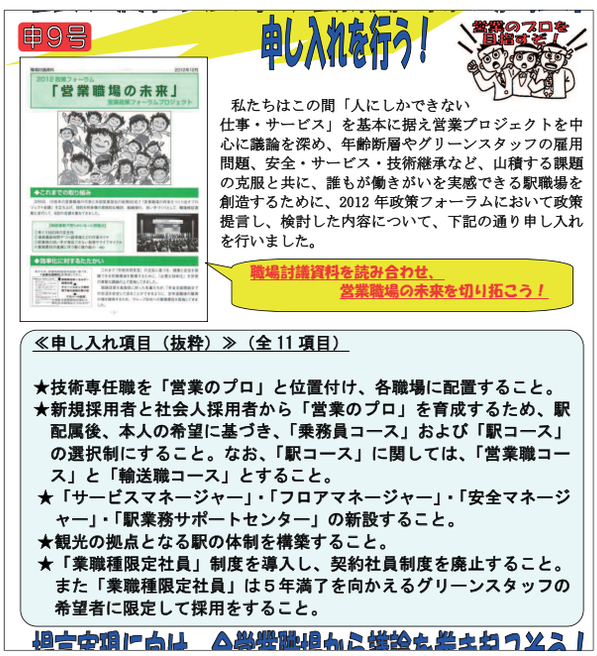
安倍政権 解雇自由を狙い準正社員提唱
業職種限定社員を提案する東労組

安倍首相が進める解雇の自由化＝準正社員制度が、駅の外注化を突破口にしてＪＲにも導入されようとしています。

準正社員制度とは「勤務地や職務を限定した新しい正社員制度」であり、「今の正社員と非正規雇用の中間に位置する雇用形態で、職務が続く限りは期間を定めずに雇用されるが、企業が職務を廃止した場合はその時点で雇用契約が終わる」（3月16日付日経新聞）というものです。

これまで企業が社員を解雇する際には、その必要性が厳しく問われてきました。一方で、会社が民営化・外注化を行う際にこの解雇規制が大きな障害とされてきました。

安倍政権はこの規制を取り払うために準社員制度の導入を狙っています。「日本経済の競争力向上に結び付けていくためには、企業の再編や合理化とも連動させていくことも必要」（麻生副総理）と言っています。準社員制度の導入で、あらゆる事業の民営化、外注化を一気に進めようというのです。


中９号

申し入れを行う！

営業のプロを目指せ！

2011年政策フォーラム「営業職場の未来」

私たちはこの間「人にしかできない仕事・サービス」を基本に据え営業プロジェクトを中心に議論を深め、年齢断層やグリーンスタッフの雇用問題、安全・サービス・技術継承など、山積する課題の克服と共に、誰もが働きがいを実感できる駅職場を創造するために、2012年政策フォーラムにおいて政策提言し、検討した内容について、下記の通り申し入れを行いました。

職場討議資料を読み合わせ、営業職場の未来を切り拓こう！

≪申し入れ項目（抜粋）≫（全11項目）

★技術専任職を「営業のプロ」と位置付け、各職場に配置すること。
★新規採用者と社会人採用者から「営業のプロ」を育成するため、駅配属後、本人の希望に基づき、「乗務員コース」および「駅コース」の選択制にすること。なお、「駅コース」に関しては、「営業職コース」と「輸送職コース」とすること。
★「サービスマネージャー」・「フロアマネージャー」・「安全マネージャー」・「駅業務サポートセンター」の新設すること。
★観光の拠点となる駅の体制を構築すること。
★「業職種限定社員」制度を導入し、契約社員制度を廃止すること。また「業職種限定社員」は５年満了を向かえるグリーンスタッフの希望者に限定して採用をすること。

組合加盟に向け　△業職種限定社員の構築を盛り込もう！

ＪＲ東労組「業務部速報Ｎｏ２９」（２０１２･１２･２１付）

ＪＲでは組合（東労組）側から提案

ＪＲにこうした制度を率先して導入しようとしているのが東労組本部です。

４月１日から、駅業務の「ＪＲ東日本ステーションサービス」会社への全面委託が始まっています。東労組本部は今回の駅全面外注化にともなって「業職種限定社員」制度の導入を突如会社に要求し、まずは５年で雇い止めにされた駅の契約社員を「業職種限定社員として雇え」と言っています。

狙いはＪＲのあらゆる業務の外注化の推進です。「正社員になりたい」と願う契約社員を利用して、より解雇を自由化し外注化を進めるやり方はあまりに卑劣です。

こんな制度が導入されたら、ＪＲの９割は「準正社員」に行き着きます。動労千葉は、若い労働者の未来を守るためにも、外注化に反対し、非正規職撤廃を掲げてストライキで闘っています。労働者が闘えば阻止できます。ともに闘おう。